

大島小学校

猪名川町をゴミのない町に



森田貢太議員 川上航馬議員

【議員】私達の通学路には、よくカ
ンが落ちていたり、公園や道はた
などには、ゴミが捨てられています。
月に一度、地区ごとにゴミ拾いをして、
町をきれいにしたらどうですか。
各小・中学校でクリーン作戦など
したら町はもっときれいになると思
います。町では、ゴミ拾いの行事
をどれくらいしていますか。

【生活部長】ゴミ捨ての問題は、

一人ひとりの意識やマナーが問題であると同時に、道路や公園のようにみんなが使うものは、一人ひとりが大切にきれいに使うという意識が大切です。町では、5・11月のクリーンアップ作戦、7月の河川愛護月間、8月の道路愛護月間など、自治会の協力を得て、地域をきれにするための活動を続けています。また、町職員も毎月1回、不法投棄の監視や撤去のためにパトロールしています。議員は大島小学校区ですが、地域を良くするために「まちづくり協議会」を作り、一緒に活動を始めようとしていきます。議員も、猪名川町がゴミのない町に、また住みやすい地域となるよう、クリーンアップなどいろんな行事に家族や友達と一緒に参加するようにしてください。



子ども議会を開催



ただ今から、猪名川町子ども議会を開催いたします。
この場に集まっている皆さんは、各小学校・中学校の児童生徒の代表として、猪名川町をより住みやすい町にするために、それぞれ一生懸命考えて参加してくださっていると思います。

せっかく設けていただいた貴重な機会ですから、しっかりとその思いを伝えましょう。また、他校の友達との質問と答弁を良く聞いて学びましょう。僕は議長として、この議会で有意義な話し合いができるように、この役を一生懸命務めたいと思いますので、よろしく願います。

この子ども議会を通して、私達子どもの意見が町政に反映され、猪名川町がより住みやすい町となるように願っています。

議長あいさつ



六瀬中学校 垣田 健議長

7月8日、町内7小学校と3中学校から選ばれた21人の子ども達が出席し、11回目の子ども議会を開催しました。六瀬中学校の垣田健さんが議長となり、各地区の子ども代表が質問と答弁を行いました。また、各地区の子ども代表が質問と答弁を行いました。また、各地区の子ども代表が質問と答弁を行いました。

白金小学校

安心できる生活環境を



高木美玖議員 山中 茜議員

【議員】最近、たくさん不審者情報を受けます。私達は、毎日防犯ブザーを持ち、低学年にも声かけをしながら下校していますが、歩道の植え込みに誰かひそんでいるのではと怖くなることあります。また、街灯が少なく、真っ暗な道もあります。こうした不安がなくなるよう、安心して生活できる環境をつくってほしい。

【消防長】防犯対策として、自主防犯グループ団体、青色回転車が巡回し、皆さんの見守り活動をしています。不審者被害は、一人での時に被害にあうことが多いので、グループ単位で行動することが大切です。もし、不審者に遭遇したら、防犯ブザーを鳴らしたり、「110番のおうち」にかけ込むなど、自分の安全は自分で守る意識を身につけてください。歩道の植え込みについては、年1・2回の剪定を行い、今後も、見通しが悪くならないように取り組みます。街灯については、地域と協議し、暗くて危険な場所には防犯灯を設置しています。今後も、暗くて危険な場所を調査・対応したいと思っています。夏休みになると、夜間に外出することも多いと思いますが、一度、家族の人と防犯対策について話し合ってみてください。

つつじが丘小学校

町内であいさつ運動を



大谷優輔議員 畔谷奈々美議員

【議員】最近、はずかしいの子どもがあいさつをしません。あいさつをしたら、自分も相手もとても気持ちいいので、町中であいさつをすすんでやるのが大事だと思います。みんなに分かるように「あいさつ運動で、いい猪名川町」といった宣言をしてはどうですか。
【町長】最近、ニュースで子どもが連れ去られたり、見知らぬ大人から傷つけられたりということが報道されていますが、人と人とのつながりが少なくなり、地域コミュニティ意識が少なくなったこと

がひとつの要因となっています。日常的にあいさつをする関係をつくり、近所づきあいをするのが地域コミュニティの第一歩です。このようなことから町では「いななスマイルあいさつ運動」として、町職員がすすんであいさつをするように徹底し、学校や地域の協力を得ながら、町全体であいさつをしやすくなるようにしています。この取り組みを町全体に広げ、あいさつによって人と人のつながりを深め、より良い地域社会づくりと明るく健やかなまちづくりをめざしていきます。

阿古谷小学校

「ホタルを守る」ふれ合い公園をつくってほしい



古川瑛美莉議員 木村凱也議員

【議員】阿古谷小学校区では、初夏にホタルをたくさん見ることができ、たくさんの方がホタルを見に来ます。しかし、道路が車で行き交わると、ホタルが減るのではないかと心配です。駐車場があり、ホタルや自然のことを学べる「ふれあい公園」をつくってほしい。
【建設部長】自然や環境に大きな関心をもち、ホタルのことを心配されていることを、とてもうれしく思います。昨年も公園をつ

て欲しいという質問をいただき、公園をつくるには、お金もかかり、つくる場所によっては、田んぼや畑を壊さなくてはなりません。阿古谷地区にある田んぼや畑は、多くのお金と時間をかけて農業がしやすいように作り直されており、簡単に公園をつくることはできませんとお答えしました。公園をつくることは大変難しいですが「ホタルを守る」という点で、阿古谷小学校区の方と一緒に考えていきたいと思っています。

中谷中学校

猪名川町に興味・関心を持つために



奥田匡洋議員 横山友哉議員

【議員】猪名川町の人口増加率は、県内では首位、全国の郡部としてもトップクラスです。また、2008年のデータでは、県内で男女ともに平均寿命が1位、女性は全国2位です。「人口増加」の要因は何だとお考えですか。猪名川町は豊かな自然に恵まれ、空気がおいしいことなども町民の健康に良い影響を及ぼしていることは想像できますが、町として「長寿」のための工夫や努力がされている点はあるでしょうか。
【教育長】人口増加の要因は、

大規模ニュータウンの開発を進めてきた結果だと思います。長寿の要因について、議員の言われているように、豊かな自然の中で、きれいな空気、旬の野菜を家族みんなで楽しくいただくことが最も大きな要因かも知れません。また、町では病気の早期発見・早期治療に重点をおいています。その人の症状に応じた介護やサービスを受けていただけることも大きな要因だと思います。また、地域の中で老人クラブや趣味サークルで活発に活動されていることも要因だと思います。今、各地域に健康づくりのリーダーを置き、健康づくりの輪を広げるために努力しています。「日本一、元気で長寿な町、猪名川町」をめざして取り組んでいますので、皆さんも応援してください。



猪名川中学校

緑豊かな、そして仲の良い近所関係を



宮東一平議員 西村美緒議員

【議員】猪名川町でのじごく団体レスリング競技が開催された時、色鮮やかに花が咲いているプランターを目にしたのですが、今ではプランターだけが道に置かれており、悲しい気持ちになります。そこで、地域で道に置かれたプランターや花壇に花を植える運動をしてはどうですか。人と人がつながりあう町

づくりができると思います。
【総務部長】のじごく団体のプランターは、老人会などで活用されている地域もありますが、そのままのところもあり、残念に思います。「猪名川町アプトプログラム」という制度があり、公園や道路のお世話をする「里親」グループは、24団体あります。町では花の苗や肥料を購入して、活動がしやすいように支援しています。皆さんもお父さんやお母さん、友達などと相談して、一緒に花を植えていただければ、もっと花を植える活動の輪が広がると思います。また、人と人のつながりを深め、コミュニティの輪を広げるために、小学校区ごとに地域の課題を検討し活動する「まちづくり協議会」が設立されてきています。自分達の地域をどうするのがいいか話し合いを進められていますので、議員の提案も話し合ってくださいと思います。

楊津小学校

せまい歩道を広げて欲しい



弓場環奈議員 久保田紫帆議員

【議員】私達が登校する時間帯は、中学校や高校の登校時間と重なっていて、自転車も歩道を通りますが、人ひとりが通ることができず、歩道が狭いので、自転車の人が歩道から降りています。私達も登校班で下級生と安全に登校するよう心がけていますので、事故が起こる前に歩道を広げて欲しいです。

【教育部長】昨年も安全な通学路と交通安全という質問をいただき、皆さんの安全に対する強い思いが伝わってきます。ご質問の区間は約40年前につくられたもので、この時代は自動車のことを考えて道路がつくられていて、十分な歩道の幅を確保できていませんでした。町内には、他にも同じような幅のせまい歩道があるので、県道は兵庫県に改良を求め、町としても安全な道路をつくる努力をしています。道路をつくり、歩道を広げるには、たくさんのお金が必要なことから、時間がかかっています。町としても、兵庫県に対して早く工事をしてもらえようとして強く求め、安心して登校できる道路になるように努めますので、もう少しの間、上級生の皆さんが、下級生を安全に登校できるように指導をお願いします。

松尾台小学校

猪名川町に住みたくなるような町にするには



福田万葉議員 多田駿介議員

【議員】住みたくなる町にするために、猪名川町にどんどん木を植えて緑を増やし、森林浴ができ、いつもすがすがしい気分になれるようにしてはどうですか。また、地区ごとにグループ分けをして、道などに落ちていくゴミを順番に拾っていくのはどうですか。町として、住みたくなる町にするため、どのような活動をお考えですか。

【総務部長】本町は、豊かな自然の中で町全体が公園のような自然のよう町づくりを進め、住宅地開発でも、できるだけ自然を残すよう努力してきました。また、自然とのふれあいの大切さを学んでもらうために、小学校区ごとに「学校里山林」を整備してきました。このような町の姿のイメージは、議員が考えておられる「自然を大切に」ということと同じだと思います。次にゴミ拾いについて、現在、年に2回町内一斉のクリーンアップ作戦、また自治会ごとに、7月には川の清掃、8月には道路の草刈りなどを行っています。提案のように、皆さんで協力して掃除をするのもいいと思います。また、皆さんですることによって、隣近所や友達の輪も広がり、大変いいことだと思います。他に自主的に清掃をされているグループなどもあるので、このような活動がもっと広がっていくようにがんばっていきます。

